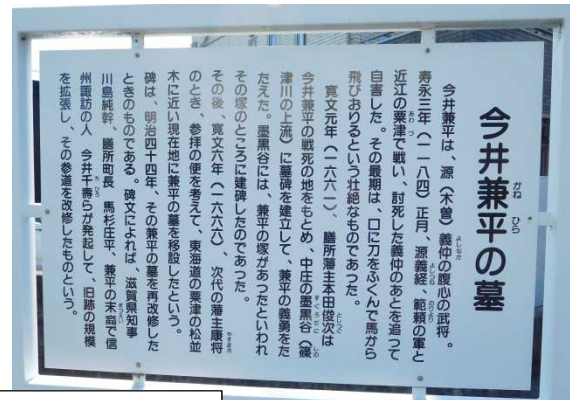


春の栗津・膳所 歴史ハイキング

3月22日(火)朝方少し風は冷たいものの、春の日差しが降り注ぐ絶好のハイキング日和に、レイカ大津研修部主催の「春の栗津・膳所 歴史ハイキング」が34名の参加の下、開催されました。

JR石山駅に9時集合、全員にコース地図と簡単な説明書きを渡し、今井兼平の墓、若宮八幡神社、杉浦重剛生誕地、本田神社と膳所藩資料館、蘆花浅水荘、篠津神社を巡り、最後に膳所神社で解散しました。

解説は「秋の坂本 歴史ハイキング」と同様、石山地域の永尾さんをお願いしました。



木曾義仲の後を追ひ、この地で自刃した今井兼平の墓



仁徳天皇を祀る、若宮神社 表門は膳所城本丸の犬走門と伝えられる。



杉浦重剛は膳所出身の思想家、教育家。若き日の昭和天皇の進講者も務めた。



本多神社は膳所城主を 200 年以上務めた譜代大名 本多家中興の 4 代が祀られている。



本多神社には膳所藩資料館が併設されているが、非公開。今回特別に拝観させていただいた。



蘆花浅水荘（記恩児）は明治～昭和の京都画壇の巨匠 山元春挙の別荘



庭園を望む書院にて春挙の孫 山元寛昭氏の解説 春挙が好んだ竹尽くしの竹の間



竹の間の円窓は昼夜 趣を味わえる



かつては庭園から琵琶湖の浜に続いていた。



参加者34名 蘆花浅水荘を背景に、春の陽をいっぱい浴びて記念撮影



篠津神社、膳所神社共 膳所城から移築された重文の表門がある。 膳所神社境内にて解散